平成 18年度 伊丹市行政評価 ~事務事業評価編~

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けが ■ あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。

事務事業コード	133	601		H19年度以降に事業開始が 内容は、評価表作成時点(H	予定されている事業。 H18年8月)のものであり、そ	の後の状況変化など	により、公表	時点において乳	ミ施時期や事業費	等が変更にな	まっている 場	易合があります。	
事務事業名		外国語・日本語講座事業・課					部 和課						
事業内容	市民対象に中国語・ハングルの講座を開講し、日本語の不自由な外国人市民にボランティア指導による無料の日本語教室を開講する。						年度 定)年度						
この事業の 上位施策	年間のまち	では、 できるできる できるできる できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 											
	⇒ 「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18~ 取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。						画的に	的に 上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する 評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等 を加味して総合的に評価したものです。					
事業の目的	外国人市民には、日本語をマスターし地域に溶け込める環境づくりを目指し、日本人市民には近隣アジア諸国の言語を学習することにより、近隣国への親近感と国際感覚を醸成する。						こまたがる 費目を表示	(款) 総務(項) 総務(目) 企画	8管理費	(事」	項) 国際	交流推進経費	
	平成17年度(決算)						平成18年度(予算)						
			平月	成17年度(決算)				平月	成18年度 (予	算)			
			平月	Д	才源内訳			平月		財派	原内訳		
			平月	国-県補助金等	才源内訳			平月	国・県補助	財源	原内訳		
	事業費		平) —	国・県補助金等市 債	才源内訳			平) —	国·県補印市	財源 助金等 債	原内訳		
	事業費		平 <i>i</i> —	国・県補助金等 市 債 その他(使用料等)	才源内訳			平) —	国・県補野市 で その他(使	財物金等債用料等)	原内訳	- - -	
事業費等の概算	事業費		平 <i>j</i> —	国・県補助金等 市 債 その他(使用料等) 一般財源(市税等)				平 <i>f</i> —	国・県補印 市 その他(使 一般財源(財物金等債用料等)		- - -	
事業費等の概算	事業費投入人員	0	平 J - .20人	国・県補助金等 市 債 その他(使用料等) 一般財源(市税等) ⇒年間を通じてこの事業 より算出しています。算	オ源内訳 に投入される人的資源を概算 式で表すと次の様になります。 (事業の仕事量・課の全仕事		О.	平J - 20人	国・県補印 市 その他(使 一般財源(→年間を通じて より算出してい	財流 動金等 債 用料等) 市税等) この事業に 、ます。算式	投入されるで表すと次	- - - 人的資源を概算に の様になります。 量・課の全仕事量)	
事業費等の概算			_	国・県補助金等 市 債 その他(使用料等) 一般財源(市税等) ⇒年間を通じてこの事業 より算出しています。第 =担当課職員数×(当該	に投入される人的資源を概算 式で表すと次の様になります。	となっている。		_	国・県補国市 市 その他(使 一般財源(* →年間を通じて より算出してい =担当課職員	財制 情 用料等) 市税等) この事業に 、ます。算ま式 数×(当該事	投入されるで表すと次	の様になります。	
事業費等の概算	投入人員		- .20人	国・県補助金等 市 債 その他(使用料等) 一般財源(市税等) ⇒年間を通じてこの事業より算出しています。算=担当課職員数×(当該 ⇒年間1人あたり平均人	に投入される人的資源を概算 式で表すと次の様になります。 事業の仕事量・課の全仕事	- - に 投入人員		20人	国・県補印 市 その他(使 一般財源(→年間を通じて より算出してい =担当課職員 →年間1人あた たものです。	財制 情 用料等) 市税等) この事業に 、ます。算ま式 数×(当該事	投入されるで表すと次	ではいます。 量・課の全仕事量)	
	投入人員	1,7	.20人 13千円	国・県補助金等市債 その他(使用料等) 一般財源(市税等) ⇒年間を通じてこの事業より算出しています。算 =担当課職員数×(当該 ⇒年間1人あたり平均人のたものです。	に投入される人的資源を概算 式で表すと次の様になります。 事業の仕事量・課の全仕事	- と 投入人員		20人	国・県補印 市 その他(使 一般財源(→年間を通じて より算出してい =担当課職員 →年間1人あた たものです。	財流 助金等 債 用料等) 市税等) ここの事業に、まず。算式 数×(当該事 の平均人件	投入される で表すと次 「業の仕事」 費に投入人	ではいます。 量・課の全仕事量)	
事業費等の概算 活動指標	投入人員 人件費 経費合計	1,7		国・県補助金等市債 その他(使用料等) 一般財源(市税等) ⇒年間を通じてこの事業より算出しています。算=担当課職員数×(当該) ⇒年間1人あたり平均人たものです。 1,713千円 フ受講率(%)	に投入される人的資源を概算 式で表すと次の様になります。 事業の仕事量・課の全仕事	- と 投入人員		20人	国・県補印市 その他(使 一般財源(*) →年間を通じている。 - 担当課職 たものです。 1,71 年度	財流 動金等 債 用料等) 市税等) この事業に、ます。算ま式 数×(当該事 の平均人件) 3千円	投入されるで表すと次 で表すと次 業の仕事 費に投入人	の様になります。 量÷課の全仕事量) 、員をかけて積算し	